

基本理念

常に患者さんとご家族の立場に立って考え、行動します。
そして、医療・保健・福祉の分野で連携充実を図り、地域のニーズに応えるよう、職員一同頑張っています。

基本方針

- 1、信頼され、安全性の高い医療サービスを目指すため
職員の研鑽と協調に努めます
- 2、患者、家族、職員がお互いに尊重し合い、ともに喜び、
生き甲斐がもてるようチーム医療を推進します
- 3、地域に根ざした、住民とともに歩む病院（施設）を
目指します
- 4、病院（施設）の質を高め、健全経営に努めます
- 5、職業を通して、社会人としての豊かな人間性を養います



医療法人和同会 -五日市和同会-



〒731-5152 広島県広島市佐伯区五日市町下河内188-6
<http://www.gh.wadoukai.jp>

- 広島グリーンヒル病院
TEL 082-929-1110 FAX 082-927-2225
- 広島グリーンヒル病院介護医療院
TEL 082-927-2511 FAX 082-927-2225
- 介護老人保健施設 五日市幸楽苑
TEL 082-927-1611 FAX 082-927-2225
- 五日市幸楽苑 通所リハビリテーション
TEL 082-927-1611 FAX 082-927-2225
- 訪問看護ステーション ハローナース五日市
TEL 082-927-0700 FAX 082-929-1114
- 訪問介護事業所 グリーンヒル・ヘルパーステーション
TEL 082-929-5007 FAX 082-929-5007
- 認知症対応型共同生活介護 グループホーム五日市
TEL 082-927-2511 FAX 082-927-2225
- 居宅介護支援事業所 なごみ
TEL 082-929-0753 FAX 082-927-2229

交通アクセス

- 自動車
西広島バイパス木舟交差点・波出石交差点から、
県道41号五日市・筒賀線を北に約10分
※駐車場をご利用ください
- バス
JR五日市駅（北口）より広電バス湯来線（藤の木団地行
・湯来ロッジ行）乗車、河内下城バス停より徒歩5分

感謝申し上げます

最善を尽くして感染予防や診療など、日夜業務に従事し
地域医療を支えている看護職をはじめ、医療関係者の皆
さまに敬意を表します。

～新年度のご挨拶～

2024年4月の診療報酬改定は、6年に1度の医療・介護・障害福祉サービスのトリプル改定となりました。改定の翌年の2025年は「地域医療構想」の最終年であり、次期改定は地域医療構想も踏まえた内容となることが予想されています。

また、「医師の時間外労働の上限規制」も始まり、医師並びに医療従事者の働き方改革の推進に向けた評価の在り方が議論されてきました。

介護保険制度については、これまで、どうしても費用面で語られることが多かったのですが、これを機会に、若い人たちが夢と希望をもって従事できる環境整備や、介護人材登用の条件づくりといった側面からの議論が進む事を期待しています。

さて、当院ではこの春、4名の新入社員をお迎えする事ができました。国の制度設計がどうであれ、当院としては、職員皆のこれからのキャリアアップ、あるいは各々に思い描いておられます人生設計の実現に少しでも貢献できればと考えておりますので、このための環境づくりにも取り組んでいく必要性を感じております。

広島グリーンヒル病院
院長 藤本 三喜夫

～新年度のご挨拶～

令和6年度のキーワードは、「地域包括ケアシステム」だと思います。人口減少社会となり、2003年より厚生労働省が推進している考え方で、当初の達成目標が2025年であるからです。その現れとして、令和6年度介護報酬改定においても第1に「地域包括ケアシステムの深化・推進」が基本的な視点として捉えられています。そこでは、①質の高い公平中立なケアマネジメント、②地域の実情に応じた柔軟かつ効率的な取り組み、③医療と介護の連携の推進、④看取りへの対応強化、⑤感染症や災害への対応力向上、⑥高齢者虐待防止の推進、⑦認知症の対応力向上、そして⑧福祉用具貸与・特定福祉用具販売の見直しが掲げられています。今後さらに進む高齢化に対して、「一人の若者が一人の高齢者を支える」肩車型社会という厳しい状況になる故、本腰を入れて進んでいかなくてはならないと思います。

地域包括ケアシステムは1980年代に、山口昇先生が広島県の御調町で「寝たきりゼロ」を目指し、医療と行政が連携して実践的な施策を推進したことに端を発しています。その後2000年には介護保険制度が始まり、2014年にいわゆる「医療・介護総合確保推進法」として現在に至っています。何としても地域でこのシステムを利活用できるようにこの1年も力を合わせて頑張っていく所存です。

五日市幸楽苑
施設長 茗荷 浩志

令和6年度入社式



4月に入社しました、池田真結子です。精神科の病院で相談員として働いていた経験がありますが、療養型の病院は初めての経験なので、ご迷惑をおかけすることも多いと思いますが、よろしくお願いたします。

入社して数日ですが、上司や先輩方から様々なことを教えていただきながら業務にあたっております。その中で他院よりいただいた紹介状の情報から、ご本人様の状態をより正確にイメージするためには医療分野の知識が必要であると感じています。また療養型の病院以外に介護医療院もあり、費用が異なるなど、複雑な部分も多いことに驚いています。

今後、福祉サービスや行政サービスについてだけでなく、医療分野の知識も身につけていくように努力していきたいです。

ご本人様、ご家族様が安心して入院できるような関わりを意識してこれからも業務にあたっていこうと思います。

社会福祉士 池田 真結子



辞令交付

在宅医療・介護連携(他職種連携)推進会議の報告

令和6年2月8日に、広島市三和地域包括センター、五月が丘・美鈴が丘地域包括支援センター主催の在宅医療・介護連携(他職種連携)推進会議で、「パーキンソン病の摂食嚥下リハビリテーション」について講義をさせていただきました。

オンライン形式での講義でしたが、近隣のドクターをはじめとする、医療介護に携わっておられる看護職・介護職・薬剤師・相談員・ケアマネージャーなど、たくさんの方々が参加して下さいました。

パーキンソン病と摂食嚥下障害の関連性や、訓練の紹介、在宅生活を送られている方の訪問での介入事例を紹介をさせていただき、最後の意見交換では、言語聴覚士の視点だけでなく、他職種の方々からの意見を頂戴でき、とても有意義な時間となりました。在宅生活において、「食べること」は最重要項目と、他職種の方々も認識されていることが分かりました。

言語聴覚士として、これからもパーキンソン病患者様だけでなく、「食べること」で困っている利用者様それぞれに適した支援をさせていただきます。

また、地域の医療機関との連携も強化し、在宅生活を送られるご本人やご家族への、支援の充実を図りたいと考えています。

言語聴覚士 伊佐 梨櫻

パーキンソン病患者への 摂食リハビリテーション

訪問看護ステーション ハローナース五日市
言語聴覚士 伊佐 梨櫻

| | |
|--|---|
| <p>内容</p> <ul style="list-style-type: none"> 01 摂食嚥下障害の概要 02 摂食嚥下障害に関するパーキンソン病 (Neurodegenerative PD) の病態 03 摂食嚥下の仕組み 04 摂食嚥下障害の病態 05 摂食嚥下障害の検査・評価 06 摂食嚥下訓練の紹介 07 症例紹介 08 まとめ | <p>01 摂食嚥下障害の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 有病率 ● 特徴 ● 診断 ● 治療 |
| <p>02 摂食嚥下障害に関連するPDの病態</p> <ul style="list-style-type: none"> 1 脳神経細胞の死 2 神経伝達物質の不足 3 基底核の異常 4 運動機能の障害 | <p>03 摂食嚥下の仕組み</p> <p>先行期 → 準備期 → 口腔期 → 咽頭期 → 食道期</p> |